

令和5年度 稲美町まち・ひと・しごと創生推進委員会

- 1 日 時 令和5年12月4日(月)15時30分～17時10分
- 2 場 所 稲美町役場 3階 303会議室
- 3 出席者
委 員 田端委員長、桃宇副委員長、大西委員、岸本委員、野北委員、東岡委員、
名村委員、坂本委員、村上委員、浅岡委員、坂本委員、佐藤委員、村下委員、
下阪委員
欠席者 井上委員、秦委員
事務局 井上勝詞、石田和也、田口史洋、沼田弘、岡野耕平、辻本直都、高橋将基
- 4 会議の概要
 1. 開 会
 2. 町長あいさつ
 3. 委員長あいさつ
 4. 審議事項
 - (1) 令和4年度 稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン（実績）について
 - (2) 令和5年度 稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン（案）について
 5. 閉 会
- 5 会議録
 - 【1 開 会】
 - 【2 町長あいさつ】
 - 【3 委員長あいさつ】
 - 【4 審議事項】
 - (1) 令和4年度 稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン（実績）について
 - (2) 令和5年度 稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン（案）について・事務局より、アクションプランの概要について説明
(質疑応答)
委 員：基本目標3、4に対して、基本目標1、2は、変更点は少なかったが、この理由は表現が変わっただけなのか事業自体をやめたり始めたりしているのか。
事 務 局：基本目標3、4については毎年度新たな事業の開始や既存事業の拡充がある。従来の事業は継続しているものもあるが、主要施策から落とし込む都合上、一見して事業が大きく変わっているように見えるが、町全体の各施策が大きく方向性が変わったり、完全に作り直したりしているわけではない。
委 員：基本目標2の指数の中で子育てについては目標を達成してるが修正してあげることができないのか。

- 事務局：5か年の計画の目標値として、設定している。この数字を変えることはなかなか難しいがこの数字に満足することなく、事業を推進していきたい。
- 委員：稲美町の空き家バンク事業について、課題と事業概要について詳しく教えてほしい。
- 事務局：7件登録があって6件売れており残が1件。不動産に売りに出されると空き家バンクに登録の前に売れている。兵庫県の北部などでは業者が抱えきれない物件が多数あり登録件数が多いが、稲美町の開発区域は需要があるので登録件数が増えない。
- 委員：住民アンケートについて、住民票を転入転出されるときに簡単なアンケートを取って政策に反映するのはどうか。
- 委員長：ご意見ということで、次年度に向けてまたご検討いただければ。
- 委員：区画整理地に転入した方が、既存のコミュニティになじめずに自治会側も苦勞している。何か手助けできないか。
- 委員長：社会増を増やすためには、多様性を認めることが重要。事務局でコミュニティ政策の中で意見があれば。
- 事務局：子供食堂であったり、子育てグループだったり、新しい取り組みについても支援していきたい。
- 委員：資料1には稲美北東部地区土地利用基本計画調整・調査事業新たな工業用地の確保の事業で、既存工場の活力維持により雇用機会の創出を図るとあるが資料2ではこの項目は消えている。今の工業用地の確保は進んでいるのか。
- 事務局：土地利用に関しても企業誘致に関しても、企業にメリットがあるかたちで進めている。しかし、有効な土地がなく、なかなかマッチングしない。
- 委員：コロナがあって、企業、個人事業主の経営が非常に厳しく、後継ぎがないなど、事業の継続に問題がある。企業進出、雇用対策を行わないと、働く場所が町内になくなる。
- 委員長：大変重要なご指摘で、人が東京に流れてしまう。いかにこの地域で事業継承ができるのか、そういうようなインセンティブを与えていくことが重要。